

薬物乱用防止教室を行いました

令和6年12月5日(木)に、学校薬剤師の篠原明美先生を講師に招き、6年生を対象に薬物乱用防止教室を行いました。薬物やタバコが体や脳へおよぼす悪影響、やめられない依存性、すすめられたときの断り方などについて、ビデオやクイズを通してわかりやすく教えていただきました。

6年生の感想をまとめましたのでご一読いただき、「薬物から自分を守るためにはどうすればいいか？」について、ご家族でも話をしてみてください。



【 授業を受けてわかったことや思ったこと 】

薬物の中で一番多く使われているのは大麻だと初めて知った。薬物を使うことで幻覚や幻聴が起こることを知って、絶対に使わないようにしようと思った。

薬は病気やケガを治すためにすごく役立つ物だけど、薬の使いすぎはよくないと知りました。必要以上に飲み過ぎることは、とても恐ろしいことだとわかりました。

タバコについて、今まで、副流煙より主流煙のほうが体に悪いと思っていたけど、今日の授業を受けて、副流煙の方が体に悪いと初めて知った。

タバコを吸っていなくても、副流煙を吸うと(受動喫煙で)、がんになりやすいと初めて知った。

※副流煙には、主流煙と比べて、
ニコチン 2.6～3.3倍
一酸化炭素 2.5～4.7倍
アンモニア 40～170倍
も含まれています。

標本にはいつている薬物を見たら、クッキーやチョコレートに見えたので、「もし、これを渡されたら、わからずに食べてしまうかも」と思いました。

薬物は、1回使ったら依存してやめられなくなり、苦しいことが続くとなりました。

家族にタバコを吸っている人がいるので、「あんまり吸ったらあかんよ」と言いたいと思いました。

【もし、あなたが友だちからタバコや薬物をすすめられたらどうしますか？】

タバコや薬物をすすめられたら、「いらない」とはっきり言うかその場から離れるか話題を変えるようにします。「みんなやってるから大丈夫」などと言われたとしても断れるようにします。

「タバコの煙(副流煙)も周りの人に影響を与えるよ。」と教えてあげます。

落ち着いて断りたい。めっちゃ恐かったら、お父さんやお母さんに報告します。

だまされないようにします。

タバコや薬物は大人になっても絶対にしません。